

宮城県林業普及活動情報

2024. 4月号 No. 191

もくじ

各地の林業普及活動情報

P 2～7

- 「木育」×「食育」プログラム（箸づくり体験）打合せ（大河原地方振興事務所）
- 安心・安全な原木しいたけの生産状況を確認（仙台地方振興事務所）
- 菌床しいたけ施設案内（北部地方振興事務所）
- 管内特用林産物販売所巡回（適切な出荷管理の周知）
（北部地方振興事務所栗原地域事務所）
- 「苔くりはら苔アンバサダーバンク設置検討会（第2回）」の開催
（北部地方振興事務所栗原地域事務所）
- 「石巻地区松くい虫防除協議会」の開催（東部地方振興事務所）
- 「合板用県産材の供給等に関する検討会」の支援（東部地方振興事務所）
- 原木しいたけ栽培見学会支援（東部地方振興事務所登米地域事務所）
- 原木しいたけの栽培がはじまりました（気仙沼地方振興事務所）
- 森林浴ツアーはじめてみませんか（気仙沼地方振興事務所）
- 市町村林務担当職員研修会を開催（林業技術総合センター）

「木育」×「食育」プログラム（箸づくり体験）打合せ

大河原地方振興事務所

【18日(木)】

地方振興部主催で行っている「キャリア教育プログラム」において、当部が実施する「木育」×「食育」プログラム（箸づくり）を柴田小学校で実施するにあたり、学校関係者と当日のプログラムの内容と進め方について、昨年度の実施を踏まえて調整することができました。

当日は、箸づくりのほか、講師から使用するホオノキの説明を、事務所からは森林の話をするようになりました。

今後、6月の実施に向けて準備を行っていきます。



【学校での打合せの様子】

安心・安全な原木しいたけの生産状況を確認

仙台地方振興事務所

【11日(木)、12日(金)】

仙台市の原木しいたけ生産者を巡回し、安心・安全な原木しいたけ生産を目的としたほだ木の管理状況を確認しました。

震災から年数を経てもなお、生産者は放射性物質対策を講じ、消費者に美味しい原木しいたけを届けるよう手間をかけて育てています。

今回訪れた生産者では、今秋の発生までに出荷制限一部解除を目指していきます。秋に発生する原木しいたけが店頭で並ぶのを楽しみにお待ちください。



【防草シートなどを敷いて、直接地面と接しないよう栽培管理が行われています】

菌床しいたけ施設案内

北部地方振興事務所

【30日(火)】

東部地方振興事務所を通じて、石巻市でしいたけを生産している法人（事業所）からの相談を受け、菌床しいたけ栽培施設見学の日程調整等を行い、見学に同行しました。

法人の方々には、より多くの収量が得られるよう工夫された施設を見て「大変参考になった。」とのことでした。

今回得られた知見をもとに、法人における生産上の課題解決に向けた検討を行った後、再度指導を受けたいとの話がありました。菌床しいたけ生産者の好意によって、他管内の生産者との交流、意見交換等が行うこ



【施設見学の様子】

とができ、今後に繋がる有意義な施設見学となりました。

管内特用林産物販売所巡回（適切な出荷管理の周知）

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【3日(水)】

森林への放射性物質汚染による、特用林産物の出荷制限に係る対応が必要な中、出荷制限が解除された一部品目について、適切な出荷管理を周知するため、管内特用林産物販売所を巡回・指導しました。

山菜シーズンが始まる4月初めに各販売所を直接訪問の上、出荷制限状況と出荷管理に関する一覧表を配布し、その内容を説明しました。

栗原市では品目毎、旧町村毎で取扱いが異なっていることから、これを理解いただくために対面による丁寧な説明が必要です。

一方、各直売所からは、生産者等から聞き取った品目毎の発生状況、及び今後の見込みについて情報提供があり、出荷前検査計画の参考としました。



【出荷管理に関する複雑な取扱いを、丁寧に説明しました。】

「苔くりはら苔アンバサダーバンク設置検討会(第2回)」の開催

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【16日(火)】

苔の聖地化・産地化を目指している栗原地区において、様々な苔関連のイベント等の企画・立案に加え、苔のPR、苔玉・テラリウム講習会等の講師を担う人材をアンバサダーとして認定する「くりはら苔アンバサダーバンク」を設置することが第1回検討会（令和6年3月開催）で了承されましたが、これを踏まえ、今後の活動指針・運営方針・連絡体制等について協議するため、第2回設置検討会を開催しました。

その結果、苔の生産・販売、苔テラリウムの作成等による地域活性化を活動理念とすること、運営事務を簡素化すること、活動単位は「個人」を基本とするが連携・協力・情報共有を図ること、連絡等は「LINE」を活用すること等が確認されました。

なお、今年度の活動として「ワークショップ「母の日に苔テラリウムを送ろう」の開催や、「青年会議所宮城ブロック大会 in 栗原」への参画、「苔祭り in 樹海」への協賛、「杜



【今後の活動指針・運営方針等について協議しました。】

の「コケリウムコンテスト」の開催などが了承され、連携・協力体制を確認しました。

「石巻地区松くい虫防除協議会」の開催

東部地方振興事務所

【25日(木)】

管内の松くい虫被害に対する効果的防除を推進するために、関係機関と連携し、被害のまん延を防ぎ、森林資源の保護と自然環境の保全を図ることを目的として、当事務所が事務局となり協議会を開催しました。

事務局から令和5年度事業実績や令和6年度事業計画の説明を行ったほか、宮城北部森林管理署から国有林における防除対策について情報提供をいただきました。

平成31年度以来の対面開催でしたが、管内の松くい虫防除関係者で積極的な意見交換を行い、充実した協議会となりました。

令和6年度事業計画についても、参加した委員から理解を得ることができたため、引き続き被害拡大防止に向け、国及び市町と連携しながら、防除に取り組んでいきます。



【協議会の様子】

「合板用県産材の供給等に関する検討会」の支援

東部地方振興事務所

【26日(金)】

合板用県産材原木の安定的な供給等を図ることを目的に、宮城北部流域森林・林業活性化センター石巻支部と連携して検討会を開催し、需給関係者とともに、実績及び今後の見通し等について意見交換を行いました。

検討会では、昨年度から続く住宅着工数減による合板需要の低迷により、原木納入調整を受け入れながら素材生産を進めていくしかないなどといった話題が取り上げられました。

関係者からは、国・県に対して出口対策（需要対策）の支援を求める意見がありました。

今後の需要見通しは、未だに回復の兆しが不透明であることから、引き続き関係者間の連携を深めて需給調整に取り組むこととしています。



【検討会の様子】

原木しいたけ栽培見学会支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【6日(日)】

原木しいたけ生産者と消費者の交流を目的として行われた栽培見学会の実施を支援しました。

生産者による栽培方法の説明を聞きながら行った収穫体験や、炭火焼きときのこ汁等の試食により、生産者と消費者が交流することができました。子供を含め多数の消費者が参加し、原木しいたけの歯ごたえや味、香りなどを楽しむと同時に、原発事故後の原木の確保や販売再開までの道のり、生産者支援について理解を得ることができました。



【放射性物質対策説明の様子】

原木しいたけの栽培がはじまりました

気仙沼地方振興事務所

【2日(火)】

南三陸町内の2名の原木しいたけ生産者が植菌作業が開始し、今年度のしいたけ栽培が始まりました。

原木しいたけの栽培は、県で策定した「原木きのこ栽培における放射性物質対策作業マニュアル」に従い、安全・安心な生産に取り組んでいることが確認できた生産者のみ出荷が認められていることから、町内の生産者2名に対して、栽培状況の確認を行いました。

確認したところ、原木が地面に直接付かないように保管されており、植菌時も台の上で作業を行う等、マニュアルに沿った栽培が行われていることが分かりました。

今後も定期的に状況確認を行いながら、安全・安心な原木きのこが流通されるように取り組んでまいります。



【原木の保管状況】

(シートを敷いた上に原木を置いている)



【植菌状況】

(台の上で作業を行っている)



【植菌体験】

森林浴ツアーはじめてみませんか

気仙沼地方振興事務所

【27日(土)】

南三陸のパワースポットでエネルギーチャージ！をテーマに、南三陸町、志津川湾に浮かぶ無人島の中で唯一歩いて渡っていける荒島を散策する森林浴ツアーが開催されました。

本イベントは、県内で森林浴事業を展開している、株式会社佐久（南三陸町）、登米町森林組合（登米市）、合同会社杜の日（仙台市）の合同主催により、各地域で森林浴ツアーを実施するイベントとなっております。

当事務所では管轄である南三陸会場に参加させて頂き、ツアー参加者に対して、林業関係パンフレット及び情報提供を行いました。

なお、ツアー内容としては、森林浴のほかに、前後には、森林浴効果の可視化計測の確認や、東北医科薬科大学住友和弘先生による森林浴効果についてセミナーも実施されました。

今後、他会場でも趣向を変えて開催されますので、ご興味のある方は、是非、ご参加願います。



【森林浴フィールド「荒島」】



【パワースポットでエネルギーチャージ中】

0
X-



【森林浴効果の可視化計測中】

市町村林務担当職員研修会を開催

林業技術総合センター

【24日(木)】

当所の旧本館研修室において、標記研修会を開催しました。

研修会では、森林林業用語の基礎知識、宮城の森林・林業の現状と施策・森林経営管理制度及び森林環境譲与税の概要、市町村森林整備計画と伐採届出制度、森林経営計画について講義しました。

今後も林業行政の推進に向け市町村を支援します。



【研修会の様子】